市町村名	3	るま市										
	令和元年	F度(繰i	越)沖縄振興特	<b>片別推進交付金事業(市町村</b>				検証シ	ノート	【公表用】		
事業番号	4 勝連城跡			辺文化観光拠点整備事業				沖縄21世紀ビジョン		第3章-1-(5)-ア		
- 尹未石		<u> </u>				基本	基本計画該当箇所		文化資源を活用したまちづくり			
担当部課名	都市建設部 勝連城跡居		周辺整備室	事業実施 (予定)年度			沖和	沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ -3-(2)		
事業内容	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。											
効果発現年度	□当年度	Ę	■後年度(令和	4年度)								
実施方法	■直接実	<b>手施</b>			口負担	□その		)				-
	(3) 当本	13.首類	H30年度 753,		年度(繰) 	R1年度		710	R1年度(繰) _		R2年度	
	(a) 当初予算額 (b) 予算現額		703.				1,440,719		-			
	算	成額 (b-a)	<b>▲</b> 50,				1,616,077		_			
	状 (d) 繰起	<b></b>	,	0			0		771.995			
予算額 · 執行額		† (b+d)	703,	313	50,050		1,616,077		771,995			
【単位:千円】	B. 執行	済額	593,	611	43,867		740,	049		770,164		
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付	金充当額	474,	889	35,094		592,	039		616,131		
ベース)	次年度繰越額		50,	050	0		771,995					
	執行率(%	6) (B/A)	84	1.4%	87.6%		45	5.8%		99.8%		#DIV/0!
	予算の状況の説明 気 H3		当初計画(歴史文化施設建設工事(建築、電気、機械)、歴史文化施設展示制作業務、観光ターミナル建設工事(建築、電気、機械)、沖縄電力変電所移転補償(公共補償))を実施し、事業の進捗を図るため、予算を増額した。 H30年度事業は、被補償者が実施している設計について道路管理者との調整に不測の日数を要したため、R1年度に繰起 した。また、補償費について、当初想定していたよりも費用が安価となったため不用が生じた。									
				達成状況								
	R1活動目標(指標)			H30年度			R1年	R1年度 R		2年度 R3年度		
活動目標(指標)	- 歴史文化施設建築工事 - 観光ターミナル建築工事 - 歴史文化施設展示制作業務 - 用地取得 - 物件移転(公共補償)		<b>美務</b>	目標	(  実施	i )	(実施	<b>拖</b> )	(	)	(	)
及び達成状況			実 績	実施		実が	<u> </u>					
	R1年度は計画どおりの工事、展示制作、物件移転を実施した。											
	F	R1成果目標	(指標)		基準値 ( 年度)	Н	130年度	R1	年度	R2年度		標値(年度)
	<ul><li>・歴史文化施設建築工事</li><li>・観光ターミナル建築工事</li><li>・歴史文化施設展示制作業務</li><li>・用地取得</li><li>・物件移転(公共補償)</li></ul>		目 標	(	) (	完了 )	( 5	包含 )	(	) (	)	
成果目標 (指標) 及び進捗状況				実 績			完了	5	<b></b> 完了			
	【R4成果目標】 年間入場者数25万人			目標	(	) (	)	(	)	(	) ( 25	5万人 )
				実績								
	R1年度は計画どおりの工事、展示制作、物件移転を完了した。											

The s	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	<b>改善余地の検証</b> (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	入口広場整備工事について、指定管理者の意見を可能な限り反映し工事施 工を行う。	指定管理者との早期の調整を行い、速やかな工事発注を行う。

## 今後の取り組み方針

- ・指定管理者にて管理予定であるため、今後の工事についても指定管理者と調整し円滑な発注を行う。
- ・R3年度に取得する用地(物件移転補償含む)について、被補償者への事前説明を早期に着手し契約締結後は速やかに物件移転(除却)に向けて円滑な用地取得 を進めるように取り組む。

## **資金の流れ** (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

交付対象

交付対象

総事業費 交付金 市町村 事業費 外経費 充当額 負担金 1,510,213 1.510.213 1.208.170 302.043 (株)丹青社 26,737千円 歴史文化施設展示制作業務 - 久友設計(株)・(株)池根設計・(株)うるま設備設計 23.672千円 歴史文化施設建設工事監理業務 委託費 58,308千円 宇地原建築設計事務所 1,277千円 観光ターミナル施設建設工事監理業務 別/公共用地補頂機構沖縄事務 変電所移転補償精度監理業務 6,622千円 (有)桑江工業・(有)殖伸建設・(有)がエイト技研 775,291千円 歴史文化施設建設工事(建築) (株)アジアエンジニアリング・(有)崎浜電機水道工事 1,118,848千円 歴史文化施設建設工事(電気) (有)山商・(有)システム設備 125,037千円 歴史文化施設建設工事(機械) うるま市 観光ターミナル施設建設工事(建築) 琉幸建設(株) 96,294千円 1,510,213千円 工事請負費 1,179,936千 (株)アジアエンジニアリング 13,420千円 観光ターミナル施設建設工事(電気) 円 (有)沖水 27,291千円 観光ターミナル建設工事(機械) | 歴史文化施設建設工事(建築)(その | (有)桑江工業 17,149千円 (株)アジアエンジニアリング 4,234千円 歴史文化施設建設工事(電気)(その (有)奥間重機土木 9,372千円 汚水設備工事 物件移転補償金(公共補償) 補償費 公共補償(契約件数:2件) 271,969千円 271,969千円

資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
途の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	  ○支出先については、内容に即した競争入札や随意契約に				
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	より適切に選定している。 〇補償費に関する算定精度の向上により不用が発生したものの、予算規模は適正であったと考えている。 〇費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。				
評費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。					
- Im 11	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					